

ビタミンBook



発行: 笠田高等学校図書館



21号



2020. 2



★★図書委員がおすすめる本★★★

書名: 『おやすみ、先輩。また明日』

著者名: 夏木エル 出版社: スターツ出版

泣ける度★★ 癒やされ度★★★

あらすじ: お菓子作りが得意な高1の杏と、不良系クールイケメンの藤先輩が、ある日電車でお会い。杏は先輩に恋をするが向こうには彼女がいる。“好き”を伝えられない代わりにお菓子を作り渡すようになる。気持ちを押し殺していたが…。

おすすめコメント: タイトルだけでは伝わらないたくさんの感情が詰まった本です。読み進めていくにつれて、登場人物の心情の変化がどんどん大きくなるので、おもしろかったです。予想外の展開もあり、少し泣けるところもあって、「早く次を読みたい」とか「次は何が起こる?」と思える1冊です。



書名: 『放課後美術室』

著者名: 麻沢奏 出版社: スターツ出版

為になる度★★★ 胸キュン度★★★★★

あらすじ: 「私には色がない」高校に入学した主人公沙希は母のいいなりに勉強漬けの毎日を送っていたが、中学生の時に心を奪われた絵の作者に出会い、ゆっくりと変わっていく2人の恋愛小説です。

おすすめコメント: 作品の中に出てくる絵の描写がすごく細かくて、私も作品の中に入り、主人



書名: 『陰陽師』

著者名: 夢枕獏 出版社: 文藝春秋

為になる度★★★ 癒やされ度★★ 面白度★★★★★

あらすじ: 安倍晴明が事件を解決する話です。短編集でシリーズ物なのであらすじをここでは書き切れません。気になった人は是非、図書館へ足を運んで借りてください。そして味わってください。

おすすめコメント: 見た目には分厚い本で、読みにくそうと感じるかもしれませんが、短い話が集まっていて、とても読みやすいです。古典が好きな人や安倍晴明が好きな人には特におすすめ



書名: 『準備する力』

著者名: 川島永嗣 出版社: 角川文庫

泣ける度★★★★★ 為になる度★★★ 感動度★★★★★ おもしろ度★★★

あらすじ: 川島永嗣選手は少年時代からサッカーをしていたが小学生の頃は練習をさぼっていた。しかし中学高校時代に一生懸命練習し努力した。

おすすめコメント: 川島選手が中学生の時にもうひとりキーパーがいて、川島選手よりもうまかった。しかし川島選手は練習を一生懸命頑張って、スタメンをとった。ぼくはこの本を読んで、努力することの大切さを知りました。(3-D 吉田裕貴)



新着図書のご案内



書名	著者名	出版社	分類番号
1 なるには Books108 行政書士になるには	三田達治 (編著)	ペリかん社	327.17
2 人生を変える記録の力	メンタリスト DaiGo	実務教育出版	159
3 十二支 (えと) のことわざ事典	加藤迪男 (編)	日本地域社会研究所	480.4
4 (ちくまプリマー新書 310) 国境なき助産師が行く	小島毬奈	筑摩書房	495.9
5 (ちくまプリマー新書 294) 源氏物語の教え	大塚ひかり	筑摩書房	913.36
6 (NHK 出版新書 608) 明智光秀	早島大祐	NHK 出版	289.1
7 (岩波ジュニア新書 865) はじめての研究レポート作成術	沼崎一郎	岩波書店	816.5
8 (岩波ジュニア新書 907) 俳句を楽しむ	佐藤郁良	岩波書店	911
9 (岩波ジュニア新書 908) 発達障害 思春期からのライフスキル	平岩幹男	岩波書店	378
10 (岩波ジュニア新書 909) ものがたり日本音楽史	徳丸吉彦	岩波書店	768.02
11 (岩波ジュニア新書 910) ボランティアをやりたい!	さだまさし・風に立つライオン基金 (編)	岩波書店	369.7
12 (岩波ジュニア新書 911) オリンピック・パラリンピックを学ぶ	後藤光将 (編著)	岩波書店	780.69
13 砂の本	ホルヘ・ルイス・ボルヘス	集英社文庫	963
14 世に棲む日日 (一) ~ (三)	司馬遼太郎	文春文庫	913.6
15 セレクション戦争と文学1 ヒロシマ・ナガサキ	原民喜 (他)	集英社文庫	918.6
16 セレクション戦争と文学2 アジア・太平洋戦争	太宰治 (他)	集英社文庫	918.6
17 セレクション戦争と文学6 イマジネーションの戦争	芥川龍之介 (他)	集英社文庫	918.6
18 セレクション戦争と文学7 戦時下の青春	中井英夫 (他)	集英社文庫	918.6
19 リス・ネズミハンドブック	飯島正広・土屋公幸	文一総合出版	489.47
20 カヤネズミの本	畠佐代子	世界思想社	489.473
21 天空の地図	アン・ルーニー 鈴木和博 (訳)	ナショナルジオグラフィック社	443.8

絵本『チェックポ〜おばあちゃんがくれたたいせつなつつみ〜』

イ・チュニ (文) / キム・ドンソン (絵) おおたけ きよ

オギはともだちのダヒの新しいかばんがうらやましくて、またダヒにチェックポをバカにされて悔しい気持ちでいっぱい。でもこのチェックポはおばあちゃんが作ってくれたポシャギでした。「ポシャギ、ポシャギ、ポシャギをぬうよ。お米をつつめば米ポシャギ、おもちをつつめばもちポシャギ、お金をつつめば銭ポシャギ。このポシャギは本をつつむポシャギだよ。本ポシャギのチェックポだよ。うちのオギは本も読めるし字も書ける。オギのチェックポに福よこい。いちまい、いちまい、あつめてはひとさしひとさしぬいますよ。福よ、福よ、福よこい。オギのチェックポに福よこい。」とおばあちゃんはどううたいました。

*ポシャギとは、ものを包んだり覆ったりするときに使う布。韓国では、昔からポシャギのことを福を呼ぶ布、福を包んでおく布と考えていました。 (『チェックポ』あとがきより)

